

## 第8回 平成24年度 ベストエコドライブ・コンテスト筆記試験

### 〈一般常識〉

- 問1 エコドライブは単にエネルギー消費の節減や経済メリットを追求するだけでなく、排出ガスの抑制、事故防止、経営コスト削減など、「環境」「安全」「経営」の3つの効果を期待するものである。
- 問2 エコドライブの基本は、穏やかな運転に徹することではない。
- 問3 クレーム対応のポイントとして、「トラブルから逃げない」「苦情を言うお客様を悪者扱いしない」「大切なお客様として扱う」ことが挙げられる。
- 問4  マークは、全国貨物自動車運送適正化事業実施機関(公益社団法人全日本トラック協会)が認定・交付する「安全性優良事業所」のシンボルマークである。
- 問5 熱中症の症状として、めまい・失神、筋肉痛・筋肉の硬直、大量の発汗がある。
- 問6 事業用自動車の運転者は、疾病、疲労その他の理由により安全な運転をすることができないおそれがあるときは、その旨を他の運転者に申し出ること。
- 問7 事業用自動車の運転者は、乗務を終了して他の運転者と交替するときは、交替する運転者に対し、当該乗務に係る事業用自動車、道路及び運行の状況について通告しなくてもよい。
- 問8 踏切を通過するときは、変速装置を操作すること。
- 問9 事業用自動車の運転者の連続運転時間(1回が連続10分以上で、かつ、合計が30分以上の運転の中断をすることなく連続して運転する時間をいう。)は、4時間を超えてはならない。
- 問10 トラック運送事業者の9割は中小企業である。

〈運転常識〉

- 問11 呼気中アルコールが呼気1リットルにつき0.15mg未満の場合は、酒気帯び運転の罰則の基準以下であり違反とはならない。
- 問12 酒気を帯びて車両等を運転することとなるおそれがあるものに対し、酒類を提供し、又は飲酒をすすめてはならない。
- 問13 横断歩道等及びその手前の側端から30メートル以内は、追越しは禁止だが追い抜きは禁止されていない。
- 問14 勾配の急な上り坂又は下り坂を通行するときは、徐行しなければならない。
- 問15 道路交通法にいう「夜間」とは、午後6時～翌日の午前6時までをいう。
- 問16 急ブレーキは危険な行為ではあるが、違反行為ではない。
- 問17 自動車の積載物の高さは、3.8メートルからその自動車の積載をする場所の高さを減じたものでなければならない。
- 問18 バス停の標示板又は標示柱か10メートル以内は駐車は禁止だが・停車は禁止されていない。
- 問19 高速道路において視界が300メートル以下の場合は、昼間でも灯火をつけなければならない。
- 問20 車両等を離れるときは、原動機を止め、完全にブレーキをかけるなど、車両が停止の状態を保つための措置をとらなければならない。

〈車両常識〉

- 問21 事業用自動車の日常点検の結果に基づく運行の可否の決定は、整備管理者によって行わなければならない。
- 問22 事業用自動車の日常点検基準において、「エンジン・オイルの量が適当であること。」については、走行距離、運行時の状態等から判断した適切な時期に点検を行うことで足りると規定されている。
- 問23 運転席が高い位置にある大型車の場合は車間距離に余裕がないように感じ、乗用車の場合は車間距離に余裕があるように感じやすくなる。
- 問24 自動車の速度が速くなるほど、運転者の視界は狭くなり、近くを注視するようになるため遠くは見えにくくなることから、比較的遠くにある障害物の発見が遅れることがある。
- 問25 運転者が危険な状態を認めてからブレーキをかけ、ブレーキがきき始めるまでには、1秒くらいかかるといわれ、これを反応時間という。
- 問26 動体視力は、疲労の影響を強く受け、また、著しく低下する。  
自動車の走行速度が早くなると視力は著しく低下する。
- 問27 自動車がカーブを回ろうとするときには、自動車の重心に遠心力が働き、自動車はカーブの外側に滑りだそうとする。このため、荷物の積み方が悪く重心の位置が高くなったり、片寄ったりすると、自動車は倒れやすくなる。
- 問28 自動車が衝突した時の衝撃力は、速度が2倍になれば衝撃力は2倍になる。
- 問29 車の速度が高いとき、あるいは前荷重の時は、いわゆるハンドルの切れが良く、逆に、車の速度がそれほどでないときはハンドルの切れが悪いといえる。
- 問30 スピードリミッターとは、アクセルを踏んでも時速70km以上は出せなくする速度抑制装置のことである。速度が時速70kmを超えると自動的にエンジンへの燃料供給が抑制され、それ以上加速できない仕組みとなっている。